

Summer 2026

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

夏号

2026
Summer





城

調査速報！

山遺跡を調査しました！



埋蔵文化財センター職員の、主たる業務の中にはもちろん「遺跡の発掘調査」があります。今回は、最新の発掘調査について紹介します。どういう目的で行なわれ、調査の結果どんなことが分かり、土の中からどんな遺物が出てきたのか、新たな情報をお知らせします。

1 城山遺跡は こんな遺跡！

城山遺跡は、城山公園一帯に広がる、弥生時代後期の遺跡です。2013年の発掘調査では、忠霊塔の南西側に方形周溝墓（＝周りに四角く溝を掘ったお墓）が3基見つかりました。溝の中からは、壺や甕がいくつも出土しています。これらの土器は、埋葬の儀式で使った土器を、再び使うことがないよう、胴や底に穴が開けられた状態（穿孔土器）でした。



底に穴が！

右写真の土器の底部分



方形周溝墓跡



周溝墓から出土した壺と甕

2 最新の発掘調査の 目的は？

城山遺跡の最新の調査は、令和7年度に行われました。公園の再整備に伴う発掘調査です。グラウンドの西側に約3×10mの調査区を設けて調査しました。今回の調査では、お墓とはっきり分かるものは確認できませんでした。しかし、調査区を横断する幅広で浅い溝のようなものが発見され、方形周溝墓の溝の一部の可能性もあります。



北側調査区（西側から撮影）

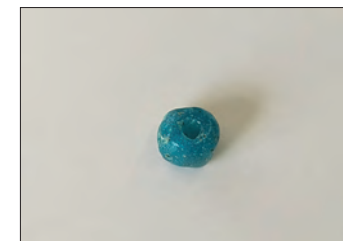


発掘現場の全景（南側から撮影）

3 土の中から 出てきた遺物はコレ！

今回の発掘調査では、弥生時代の土器や江戸時代以降と考えられる土器が出土しましたが、それらは小さい破片で発見されています。

そのほかには、富士宮市では珍しいガラス製の小玉が見つかりました。ガラス小玉は主にお墓に埋葬される人の副葬品であることが多く、2013年の調査の際にはお墓が発見されていることから、副葬品であった可能性が高いです。



紐を通す穴が開いたガラス小玉



弥生土器の破片



近世の陶器

誰かに話したくなる！

考古学トリビアの壺

土のうが大活躍！？

台風や豪雨時の浸水防止や、土木工事の際の土留めなどに使われる「土のう」ですが、発掘の現場でも欠かせないものだと知っていましたか？

トレンチと呼ばれる発掘坑の壁面崩落の防止や、遺跡保護用のシートのおもりにするなど、汎用性の高い重要な道具なのです。



ブルーシートのおもりに

2026 夏休みのイベント開催

勾玉をつくろう

開催日：①8月21日（金）

②8月22日（土）

午前の部 10：00～12：00

午後の部 13：30～15：30

会場：富士宮市埋蔵文化財センター

対象：市内在住の小学生と保護者

定員：各部6組（先着順）

申込：8月11日（火）～8月18日（火）

※電子申請にて予約受付をします。詳細は広報ふじのみや8月号をご覧ください。

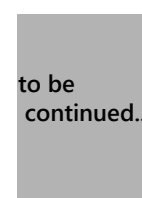
問合せ：0544-65-5151



電子申請はコチラ

バック ナンバー

既刊号は
富士宮市のHPで
公開中



富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail mailbun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

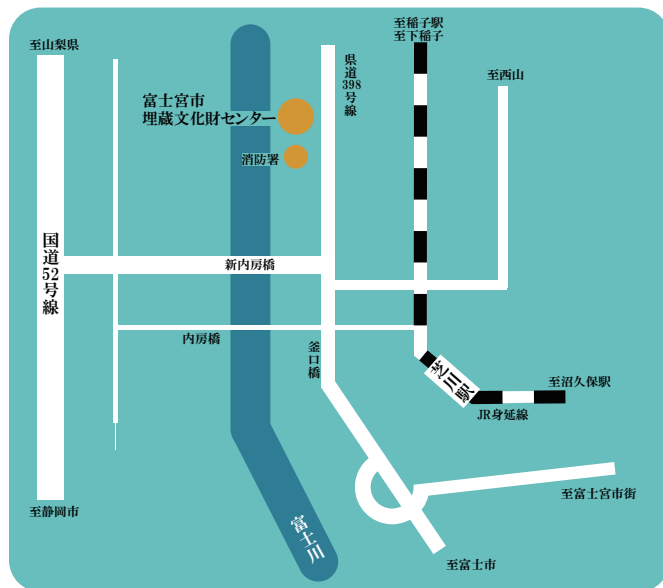
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらの はなし 夏号（通算 vol.33）

令和8年7月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター